

# GAP導入と実践

## 大津・南部農業農村振興事務所農産普及課

### 【普及活動のねらい・対象】

(有)アグリケーションは、草津市でネギの栽培とその加工・販売を行っている農業生産法人です。これまでから、生産履歴の記帳や定期的な残留農薬の自主検査など、生産物の安全確保には力を注がれています。

また、環境に配慮した持続可能な生産を目標に、化学肥料を投入せず土壌の力を最大限に引き出す独自の循環農法の確立にも努められています。

GAPの導入について提案を行ったところ、かねてからその必要性を認識されていたことから、食の安全を確保するうえで求められている望ましい農場管理や作業従事者の労働安全を確保する目的で導入されることとなり、その支援を行いました。

### 【普及活動の成果】

#### (1) 活動の経過

国内で第三者の認証が得られるGAPには、日本GAP協会のJGAPがあります。現在、アグリケーションでは、JGAPの認証を得る必要はありませんが、将来、実需者から求められた際に速やかな対応が出来ることは重要です。そこで、現在のJGAPの管理点について自主点検を行うとともに、JGAPに準じた農場管理に取り組みました。

自主点検は、生産者と当課の二者で行いました。その結果、現在の作業手順や農場管理のルールを明確にし、文書として誰にでも分かるようにする必要性を確認しました。

そこで、全項目の適合を目指し、農場内の明確なルール作りや管理帳票等の作成について支援を行いました。

#### (2) 活動の成果

自主点検を行うなかで、不適合となった項目の中に農場管理に有益なものが多数あり、改善に取り組むことにより、農場管理のスキルアップに繋げることができました。

また、農場のルール作りに従業員も参加することで、従業員の適切な農場管理を行う意識も形成されました。

当課では、今後も適切な農場運営に繋がるGAP導入を支援していきます。



社員も参加 農場ルール検討の様子